



HIMATSUBUSHI TIMES

— 第7号 —

2024.1.6 sat



新年のお慶びを申し上げます



本年もたくさんのお喜びと興奮をお届けしてまいります

注意事項

『why me?』を応援して
くださるすべての方へ

本日は『why me?』vol.7にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

本誌は上演前の暇つぶし、もしくは上演後の余韻浸りにご活用ください。

本日の終演時間は18時30分を予定しておりますが、ゲストの方からアフタートークへの出演の許可を頂けた場合は19時頃になります。ご了承くださいませ。

今日という日が皆様にとって特別な1日になりますように。

『why me?』スタッフ一同

本日は『why me?』vol.7にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

開演に先立ちまして皆様にご挨拶いたします。

客席での飲食・喫煙・録音・許可のない動画撮影はお控えください。

非常時の際は係の者が出口までご案内いたします。どうぞご安心ください。

本公演のゲストを選ぶタイミングで長澤が客席まで降りさせていただきます。ご了承ください。

まもなく開演です。今しばらくお待ちください。



cast

長澤 英知 &
nagasawa hidetomo

staff

ピアニスト	Kevin McHugh	照明プランナー	中能 良
音響	村岡 正則	カメラマン	横山 一成
照明	上林 悠也	広報・受付	東峰 かおり
撮影	片岸 佑太	舞台監督	マナティ
撮影	磯貝 幸毅		

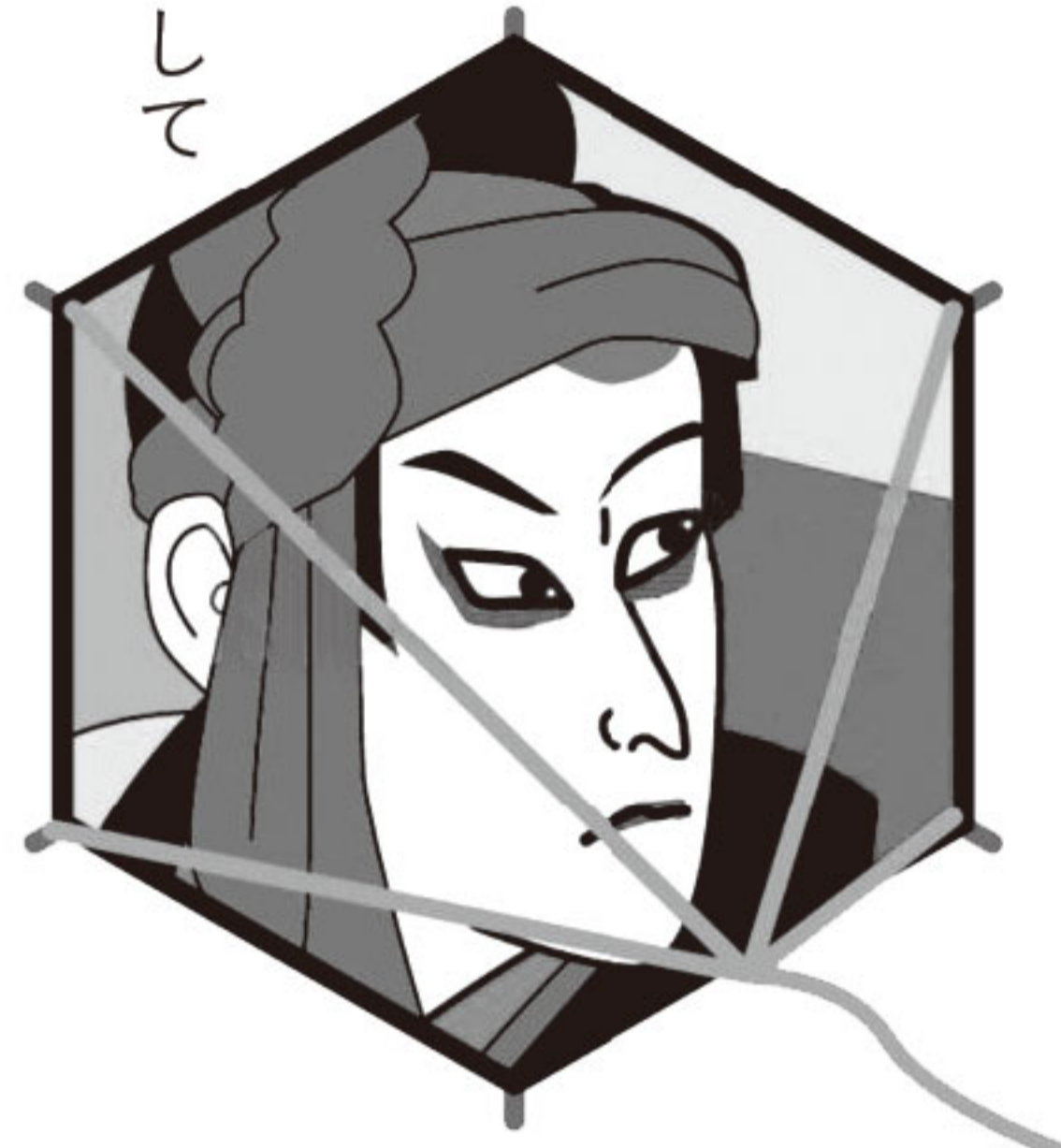
special thanks

Tokushima family
vol.7の上演にご協力いただきまして誠にありがとうございました



長澤です。
明けました。
新年もよろしくお願ひいたします。
今年目標は「体臭改善」としました。
いや臭くねーわ。

年始早々お忙しい中ご来場いただきまして誠にありがとうございます。



皆さんは「神回」という言葉をご存知でしょうか？

「今回の〇〇、めっちゃくちゃ面白かったよね！」という意味合いで使われる言葉です。

日本には八百万の神がいると申しますが、面白さにさえ宿るようです。

所謂「表現者」と呼ばれる人々の中には、時に自身の表現に対して「今回、神回だった」と評する事がありますが、性格の歪んでいる人はそれを見る度に苦笑してしまいます。

昨年冬、『why me?』のYouTubeチャンネルがリニューアルされました。そこには過去の『why me?』の公演の動画がアップされています。(本編部分のみ。オープニングとアフタートークは未収録)

実は本編動画をYouTubeにアップするという構想は2年ほど前から存在していました。

撮影スタッフのゆうた氏が「とにかく世に知られる事が大事」という持論を展開していたのです。

(因みにゆうた氏はこの会場の中で顔が一番怖い人物です。もしかしたらトイレなどでばったりと遭遇するかもしれません。彼が鼻から白い粉を吸引している時はあまり近づかないようにしてください)

この意見に対しぼくはわりと強めに抵抗をしていました。

今まで6度の公演をしてきたこの『why me?』はどの回も例外なく、本編終了直後から自分の力の未熟さを痛感しています。

楽屋に戻った瞬間に無数の「もっとああすればよかった」という波が押し寄せてきて、打ち上げの席でスタッフ一人一人にくだをまくぐらいにはやさぐれてしまうのです。

己の下手くそさに、本番をやる度に心が折れているわけです。そんな動画をどうして人様にお見せできましようか。

ぼくとゆうた氏の考えは平行線のまま2年の月日が流れました。ゆうた氏の吸う白い粉の量も増えていき、「やっぱキューバ産のがええな…」と呟く回数も増えていきました。

そんなぼくの意見が変わったのは大きく2つの理由があります。

1つ目は自分自身の言行不一致に気づいた事。

ぼくは「即興2人芝居ができるようになるためのワークショップ」を開催しています。

ぼくがこのワークショップをする時に「失敗なんかはない、出てきたものを真実として扱う」という言葉を幾度となく受講者に伝えるのは、それが即興芝居(インプロ)の根幹となる精神性であるからです。

しかしぼくはある時、動画のクオリティにこだわらずすぎる自分とこの教えが乖離している事に気づきました。

重要な精神性を説き広めようとしている人物がそれを体現できていないという皮肉。
自分が綺麗事を並べるだけの男だったと気づいた時、ぼくは恥ずかしすぎて穴があったら入りたいほどでした。そして実際に入りました。まあまあ暗かったです。

即興なのだ。

自分の思う通りには進まないしそれが当たり前。
それでも前進する姿が人々に何かを感じてもらえるのではないか。

ぼくの動画アップに対しての考えは少しずつ軟化していきました。

2つ目は『why me?』を親に劇場まで足を運んでくださるお客様の存在。

ぼくが「下手だなあ」と感じてしまう作品を「おもしろかったよ」と言ってくくださる方がいる。その事にぼくは何度救われたか知れませんが、ぼくの手首に付いた無数のためらい傷がためらい傷で済んでいたのはお客様のおかげです。ためらった甲斐があるってなもんです。

長澤の未熟さを知りつつも楽しんでくださるお客様。そんな方々を楽しませようとさらに精進する長澤。という良好な関係が育まれているのかもしれない。

あらためて、『why me?』のYouTubeチャンネル、リニューアルしました。即興芝居の下手くそな長澤がそこには映っていますし、それを人に見られるのも恥ずかしいのですが、それらを丸ごと受け止めていく所存です。

なお余談ではありますが、かの喜劇王・チャップリンが「あなたの最高傑作は？」と聞かれて「NEXT」と答えたという有名な逸話があります。これは「NEXT」ってタイトルの映画だぜ！皆、ぜってー見てくれよな！という事ではありません。「次の作品だぜ！」という事です。冒頭でお伝えした「神回」がこの「NEXT」の対極に位置する事は言うまでもありません。

決して神回ではない、むしろ足りない箇所ばかりが目につく作品を動画として世にアップする事に抵抗が全く無くなったわけではありませんが、それでも「即興芝居を世に広める」というミッションと『why me?』をきっかけとして広める」という下心を達成させる為に必要な事だと思っています。そして何よりもこの『why me?』を面白く思ってください。応援してください。さらさらの方々に向けて何か返していきたい。
そんな想いのもとに踏み出した一歩となります。
是非ご覧ください。

長澤英知より(穴からの手紙)

追伸…バイトを募集しています！

ゆうた氏から白い粉を受け取り特定場所まで持っていくだけのお仕事。興味ある方は是非ご連絡ください！
割のいい仕事ですが決して口外してはならないようです。



★すべての詳細は左下のQRコードをご参照ください。

即興芝居ワークショップ(初級編) 毎月開催!

即興2人芝居のワークショップ(初級編)を毎月開催しております。

- 期間：毎月(1ヶ月単位での参加)
- 頻度：月3回
- 時間：1回あたり4時間
- 曜日や時間：参加者全員と調整
- 人数：1クラスあたり4~6名
- 場所：西武池袋線沿い
- 参加条件：なし(経験不問)
- 参加費用：月1万円
- 内容：即興で2人芝居を創れるようになるためのワークショップ



すべての詳細はこちらのQRコードから

『why me?』リハーサル相手募集!

『why me?』では演目内容の性質上、リハーサル相手を常に募集しています。

長澤との面識や演技経験の有無は問いません。
3時間拘束。交通費支給。自薦・他薦問いません。

SNSチーム発足!

日本の新しいエンターテイメント『why me?』を国内外で広げていく活動を支えてくれる人=セカンドクリエイターを募集します。

「長澤ロスになりそうでならないちよつとなる」という稀有な方向け

長澤英知の非公式サイト「hit the spot」ブログや新情報など不定期で情報を更新しています。

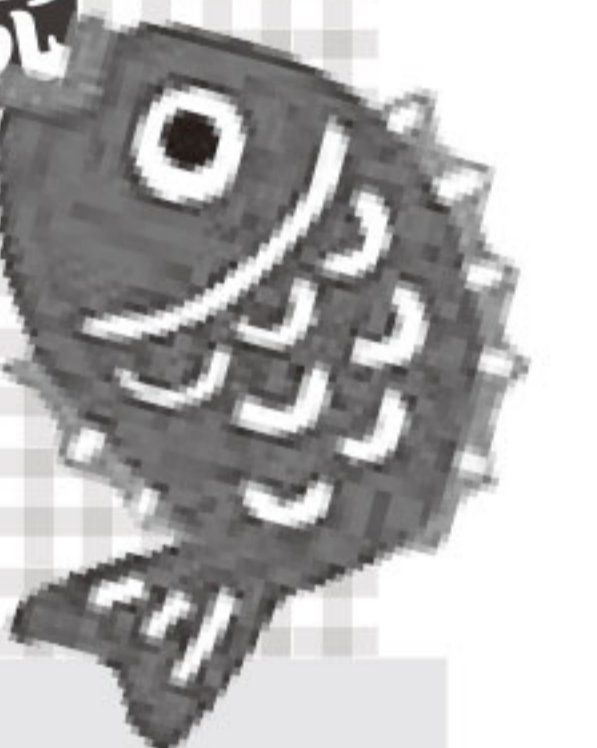




増子まなみ様

からコメントを
いただきました

音読
推奨



友人に勧められて観劇した、わたしにとって初めての『why me?』はvol.6だった。その友人をS.O.SとS.O.Sの公演の間で突然亡くし、「行けそうだったら、一緒に行きましょうね」と話していたS.O.Sに、わたしはひとりで行って来た。

彼女がいなくなってから、カレンダーに入った予定を眺めながら、ひとりで過ごした週末もあったが、それもこれで最後。

前回、Z.O.Oの赤シールを貼ったわたしに、彼女は「やってみる機会があったら、やってみたらいいのよ」と言った。

会場に向かいながら、今回は黄色のシールを貼ってみよう、と思った。

舞台上に上がりたかといえ、そんなこともないが、なんとなく、上がるような気もしていた。

とはいえ、長澤さんに最初に声をかけられた時には緊張し、あとに声をかけられた人たちが自分よりずっと興味深そうなことには安堵した。

長澤さんがわたしのところに戻って来た時には驚き、恐る恐る「はい」と答えたあと、断るラストチャンスが与えられた時には、やっぱりやめようかとも思った。

でも、これは思し召しなのだ。今回を逃したら、多分、次に機会があっても、わたしは「はい」とは言わない。今日だから、わたしは背中を押されている。彼女は、そういうところがあるから。

思い切って舞台上上がってみると、不思議と最初に長澤さんに声をかけられた時のような緊張は、もうなかった。

みんな観ているけれど、誰も観ていないような。

そこに確実にいることを感じるけれど、実際にはそこにはいないような。

知らない人たちなのに、見守られていて、取り繕う余裕なんてなくても大丈夫な感じが感じ取れる。観てた時より、その日そこにいる全員で作っているお芝居であることがわかった。

安心感からか、「わたし、この件に関してはフリー素材なので、どうとでも好きに使ってください」と、思わず言ったら、動画撮影のお声かけまでいただいた。終わってしまった彼女との予定に続きができた気がして、軽く即答した。いいですよ、と。

これもまた、普段なら絶対しないことだけど、もう完全に思し召しなので仕方がない。

自分は行けるかわからないと言いながら、「お芝居、行けそうですか?」と、わたしには何度も確認してきた友人のことを思い出す。この経験から繋がっていくものに対して、意図を感じた。彼女を知ってる人なら、きっと共感してくれる。彼女って、本当にそういうところがある。

そんな風に背中を押してくれた人がいて、わたしをゲストに選んでくれた長澤さんがいる。つくづく、長澤さんの直感って、一体なんなのか。

終演後には、観てる方が面白いと言ったわたしが、『why me?』のゲストになる面白さを実

感じたのは、S.O.S後しばらく経って、ここに何を書こうかぼんやり考えを巡らせている時だった。

途中涙が出た時、心理士として面談室で話を聞いている自分を思い出したけれど、想起された感情自体は、自分自身のものだった気がするんだけどなあ...と思っていたら、突然、それがどこから引つ張りだされた感情だったのかがわかった。

ゲストとして長澤さんの隣に立つことは、こんな、普段は意識の上にあがってこないような感情まで総動員させられるってことなんだ、と思ったら、日常では得難い機会がもたらされた実感が湧いてきた。面白い。

長澤さんに身を任せてみるの、オススメです。鋭い第六感で切り込まれ、昔の自分に新しい気持ちで出会えるかもです。わたしも、客席から見守る係と、あとちょっとが思い切れない方に念を送って背中を押す係で、引き続き参加予定です。

一陽来復



皆様のお力をお貸しく下さい

『why me?』を拡げていく為に、国内外での認知度を上げていく。その為に皆様のお力を貸していただきたいです。

お願い①



本公演終了後ロビーにて、本編の感想やコメントを撮影させてください。撮影動画は広報の用途にのみ使用させていただきます。
~~コメントは絶対に盛って欲しい~~
多少盛っていただいても構いません。

お願い②



お願い1が難しい方へのお願いです。皆様各自のお好きなSNSにて『why me?』の感想をご投稿ください。可能であればハッシュタグ『#whyme』を付けていただくと嬉しいです。
~~コメントは絶対に盛って欲しい~~
多少盛っていただいても構いません。

お願い③



お願い1も2も難しい方へのお願いです。本日帰宅後、家族の方々に「今日こういう観たんだよ」と教えてください。ただそれだけでいいのです。具体的かつ詳細であり、それでいて聴き手のイメージーションが膨らみ「次は自分も連れて行ってよ」と思わず言わせるような説明さえしてくれれば多くは望みません。
コメントは絶対に盛りましょう!



「ことだま鑑定」とは...平仮名50音の音で名前を読み解く「姓名判断」です。

水蓮流 ことだま鑑定師でもあるスタッフ・かおりんが、3人の〈性格・魅力・才能〉を読み解いていきます。

氏名は使命!「ことだま鑑定」3つの特徴

- ① 1字1字〈平仮名〉に分解して読み解く
- ② 名字は〈家系〉の使命、名前は〈個人〉の使命を表している
- ③ 50音すべての音には〈陰〉〈陽〉両方の意味があり、名前そのものを〈良い〉〈悪い〉では判断しない



Sorry
今回は
食べません!



上記QRコードから本公演のご感想をお聞かせください

新春特別企画 水蓮流ことだま鑑定

オンリーワン!でナンバーワン!

“自分らしさ”を何より大切にする。存在感があり、自分を表現することが得意。束縛が嫌いで頼られることが好き。負けず嫌い。隠れ寂しがり屋。リーダーとして周囲を引っ張っていくパワフルさと、人を惹きつける魅力がある。

手抜きが出来ない職人タイプ

芯が強く根気強い。責任感が強い。集中して1人で取り組むことが得意。独自の世界観を持ち、“自分なりの哲学”をとことん追求していく。器用で何でもこなせるが、スペシャリストになる方が能力を発揮できる。

物事を公平に判断する人

俯瞰の目を持つ。冷静に観察・分析するチカラがあり、人へのアドバイスが得意。着実さ・堅実さを大切にする。極端なことよりバランスが良いことを好む。責任感が強い取りまとめ役。人から相談されたり頼られることが多い。

粘り強く努力を積み重ねる人

マイペースな努力家。責任感が強い。誠実で思いやりがある。頼り甲斐があり面倒見が良い。自立心が強く、人を頼ったり任せたりが苦手。



相性度 ★☆☆☆☆

お互い足りない部分を補い合う関係
違う性質を持つ2人だからこそ
相手の良い部分を認め合えば良い関係が築ける。
しかし、対極にいる2人なので意思の疎通が難しくなりがち。
そんな時は
冷静な【地の性質】の名前の【ひでとも】が1歩下がって
感情的になりやすい【火の性質】の名前の【けびん】を
フォローするとムリなく付き合える。

どんな場にも溶け込める人

明るく話術に長け社交的。食べること・しゃべることが大好き。かなりの負けず嫌い。面倒見が良くもてなし上手。人やものが出している“氣(エネルギー)”に敏感。人の“氣配”が大事な人。人に囲まれていることで運気がアップする。

人を助けるのが大好きなお助けマン

責任感が強く頑張り屋。人の役に立つことが大好き。“自分がやらねば誰がやる!”精神の人。スキル(技術や才能)を活かして人を助ける。人との関わりを大切にし、いつも人に囲まれている。

白黒ハッキリつけたい正義のミカタ

真っ直ぐで真っ正直。正義感がとても強い。美的センス・直感力に優れている。学び好き。頭の回転が速く、細かいところまでよく気が付く。実務能力の高いサポータータイプ。秘書や講師に適性あり。

完璧主義な個人プレーヤー

理想が高い努力家。強い信念で最後まで完璧に丁寧に成し遂げる。中途半端が苦手。自立心・責任感が強く、1人で何でも抱えがち。強いように見えて繊細。ガラスのハートの持ち主。

場を明るくするムードメーカー

コミュニケーション能力が高い。場の流れを読むことが上手。柔軟性・協調性がある。芯が強く控えめ。人のサポートに喜びを見出す。感性がみずみずしい。淀んだ氣を洗い流す“浄化能力”がある。

“ことだま”は
“おとだま”
“音”にすることで
ことだまのチカラ
が働くよ♡



重要

濁点がある場合はチカラが倍!!
名前の中で特に重要な役割を持つ音
その音の性質を大切にすると開運につながるよ

1文字目は「メインキャラクター」
1番影響力が強い音
その人の考え方や性質の基本が表れるよ

強

ことだまのチカラは
1文字目が1番強く発揮されるよ
下へ行くほど表に出る性質は弱くなるよ

弱

ひ

で

と

も

け

び

ん

ま

な

み

vol.6 guest